

拝啓

ピカピカの1年生を迎え、塩川小学校は活気にあふれたスタートを切られたことでしょう。新しい年度の順調な滑り出しをお慶び申し上げます。

さて、突然のお便りで失礼します。

実は、とてもすてきな子どもたちの様子に感激したので、是非校長先生にご報告をと思って筆をとりました。今月初めの朝のことです。たくさん子どもたちが、自転車をおして登校していたので、きっと交通安全教室の日ではなかったかと思います。

私は、勤めに行くために塩川小学校の前の道を車で通りました。普段は別の道を通るのですが、その日はたまたまでした。校門前に近づいた頃、ちょうどその時右側の歩道を歩いてくる班に会いました。6, 7人の班だったと思います。横断歩道に差し掛かる時でしたので、私は車を停車してその班が渡るのを待っていました。横断旗を持った高学年の子が先頭で渡り、その後ろを下の子どもたちがついて渡りました。先頭の子は、横断歩道を渡る際に、運転手の私に対してお辞儀をしてくれました。そのお辞儀の仕方が何ともいいのです。一連の素早い動きが必要な中で、きちんと顔をこちらに向けて、てきぱきとそれでいて丁寧さが伝わる仕草に、「この子は責任を持って、安全に渡らせようとしているんだな」と思いました。とても嬉しい気持ちになりました。

ところがこれだけではなかったのです。最後尾は班長さんでしょうか、全員が渡り終わると、この班長さんを中心にみんなが集まり、私の方を見てみんなが頭を下げたのです。それが自然な感じで、きっといつものことなのでしょうね。何と素晴らしい光景でしょう。塩川小学校は、この指導をされているのでしょうか。指導されているとしても、なかなか全員ができるものではありません。きっと班をまとめる班長さん、副班長さんの力が大きいのでしょう。「ありがとうございました。」という感謝の気持ちがすごく伝わってきました。車を降りてほめたかったのですが、後ろの車の邪魔になるのでやめました。このすてきな子どもたちに、校長先生から是非お褒めの言葉を掛けていただきたいと思います、手紙を出させていただいた次第です。

私は、横断歩道に人を見かけたらきちんと車を止めようと思います。それがルールなので当然なのですが、あの朝の子どもたちのすてきな行動がずっと頭の中にあるので、また止まります。大人の私をこんな気持ちにしてくれた、塩川小学校の子どもたちに感謝をしたいと思います。みなさんに「ありがとう」です。これからもがんばって勉強して、益々よい子になってください

結びになりますが、塩川小学校のさらなるご発展とお子様方の健やかな成長をお祈りして、感謝のご報告とさせていただきます。

敬具

平成30年4月18日

喜多方市立塩川小学校長 様

町内 区の住民より